



# GREEN Rotary-Club

2012-2013年度 テーマ

国際ロータリー

「奉仕を通じて平和を」

R.I. 会長 田中 作次

地区方針

「心をひとつに」

R.I.2720 地区 ガバナー 岡村 泰岳

熊本グリーンR.C.

「絆を深めよう」

熊本グリーンR.C. 会長 山下 佳介

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30  
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル  
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 佳介 ■幹事：本田 悟士 ■会報担当：江上 泰弘  
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内  
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー  
第2720地区

熊本グリーンロータリー・クラブ週報



【2012年11月12日】

第1067回

2012-2013年度 第15回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

「友と語ろう」

(熊本グリーンRCの歌)

2. 食事と交歓

友情の握手

会長スピーチ 山下 佳介 会長)



今朝感動した事がありました。男子ゴルフの三井住友VISA太平洋マスターズで2年ぶりのツアー優勝をした石川遼の事です。

彼はまだ若くしてデビュー以来数々の記録を更新し注目を浴びてきた選手ですが近年成績が悪く相当周りから色々なバッシングや非難もあったと思います。そう言う苦難の中で久しぶりの優勝という事で感極まって泣いてインタビューに答えていた姿に感動してしまいました。

私も独立して7年が経とうとしていますが今一度初心に振り返らなければいけないなと思いました。高い目標を達成して感動の涙を流したいと思います。

さて今月はロータリー財団月間です。今我がクラブではマルチプル・ポールハリス・フェローは十時会員だけです。ポール・ハリス・フェローは9名が登録されていますがまだ未登録の方はこの機会に検討されてみては如何ですか？ 1,000ドル寄付が条件ですが今は円高です。昔に比べると非常にお得に登録できま

す。

最後に今日の卓話者、石浦会員よろしくお願います。

幹事報告 本田 悟士 幹事

■ 例会取止め・変更

【熊本東南RC】

11月14日(水)の例会は、新入会員歓迎会のため、同日18:30よりホテルキャッスル11F「トゥール・ド・シャトー」にて行います。

慶 事

★11月誕生祝★

上田 観一 君	S22.11.3
宮崎 幸子 夫人	S9.11.3
中島 光司 君	S24.11.13



左から：  
上田会員、中島会員

卓話  
予定

- 11/19 「未来の夢計画と地区補助金について」地区ロータリー財団委員長 木村 初 氏卓話
- 11/26 本田 悟士 会員 卓話
- 12/3 「知って得する相続の話」愛甲 三郎 氏 (熊本菊南RC)
- 12/10 「会員増強クラブ・フォーラム」
- 12/17 「年次総会」及び「年忘れ家族会」

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

**出席報告** 田中 純司 クラブ管理運営委員

	会員総数	26名	出席率
11月14日	出席免除会員数	1名	68.00%
	計算上会員数	25名	
	出席会員数	17名	
10月31日	前回の出席会員数	22名	92.00%
	メイクアップ数	1名	
	修正出席会員数	23名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・10/19 熊本東南RC 趙 君			

**委員会報告**

① パスト会長による「3分間スピーチ」



報告者： 河島 一夫 会員

私は、このクラブの5周年記念式典の前に入会しました。その時の会長は、土井口先生で、ある日、お電話をいただき、「是非お会いしてお話したいことがある。三浦洋一先生からのご紹介です。」とのことでした。三浦先生からの紹介なら会わないわけにはいかないと、店先でしたが、すぐに来られ「私どものクラブに入ってもらえないか。」と言われました。ロータリークラブは、上通の数人が入っているのは知っていましたが、私のような店を営業している者には、不似合いなクラブではないかと、ためらいましたが、三浦先生の手前一応入会を承諾しました。現在、チャーターメンバーの次に古いのが、この5年目に入った私となっています。2年目・3年目と入った方々は、お辞めになっています。ロータリークラブとは、長く会員でおられる方がいらっしゃるかと思うのと同時に、会員の入れ替わりが多いクラブだと思っています。土井口先生といえば、「ロータリー情報集」の作成ですが、先生の「情報集」の作成は、大変な作業で、次に出す改訂版の原稿

は、手持ちの「情報集」にびっしりと赤と青とのボールペンで余白が埋め尽くされていました。私が、ロータリーの友の地区委員長をしていた時、上京して会議で「熊本のグリーンロータリーです。」と言えば、隣に座っている方からよく「情報集」を出していらっやいますね。」と言われたものです

② 11月の卓話スケジュール案内  
報告者:丸山 徹 プログラム担当長

11月 卓話スケジュール  
～「ロータリー財団月間」～

5日

★熊本グリーンRC・熊本北RC合同例会★  
「マスコミあれこれ」

熊本朝日放送(株) 相談役 門垣 逸夫 氏  
(熊本RC直前会長)

※ 例会終了後場所を移動して「懇親会」開催  
(於:「オステリア ダ・ルバクオーレ」)

12日

「私の仕事・RAC活動報告」

石浦 順一 会員 卓話

19日

「未来の夢計画と地区補助金について」

地区ロータリー財団委員長 木村 初 氏卓話

26日 本田 悟士 会員 卓話

**その他の報告**

「熊本市域RC新春合同例会」打合せ報告  
報告者:河島 一夫 副幹事

日時:平成25年1月8日(火)

12:30~14:00

場所:ホテルキャッスル 2F

会 費:5,000円

(但し、内2,000円は例会費より補填)

ホストクラブ:熊本RC

※各クラブ受付に親睦委員会2名を出して下さい。

※当日全員スマイルを1人1,000円頂きます。  
→熊本県ロータリー奨学会へ全額寄付させていただきます。



## スマイル

大友 利行  
クラブ管理運営委員 (スマイル担当長)

### ●山下 佳介 君、本田 悟士 君

「石浦会員の卓話にスマイル。個人的には石浦会員の仕事のお話を楽しみにしていますが、後段のRAC活動報告についても、クラブ全体でロータリアンサイドからみたアクト活動に関する情報・認識を共有できるいい機会と思っています。よろしくお願いします。」

### ●上田 観一 君

①「今日は石浦会員の卓話楽しみにしていました。RACも頑張られておられますので、これからも若い方々のご指導お願い致します。」

②「誕生祝いありがとうございます。これからも元気に頑張りたいと思います。皆様宜しくお願い致します。」

### ●丸山 徹 君

「スランプが続いています。次回こそは大爆発するように皆様の幸運をわけていただけるようスマイルします。」

### ●中島 光司 君

「今日は誕生祝いありがとうございました。63才に明日でなります。1年、1年が早く過ぎてゆく感じがしてなりません。まき戻しはききませぬかね！」

### ●仙波 洋八 君

「石浦会員の卓話楽しみにしています。新入会員の卓話のように言われていますが、既にベテランの活躍をされています。今後のさらなる活躍を期待します。」

### ●松村 秀逸 君

「本日の卓話者石浦順一様に心から感謝しスマイルします。」

### ●葉 高源 君、十時義七郎 君、荅 孝之 君、栗山 義則 君、廣坂 彰雄 君、大友 利行 君

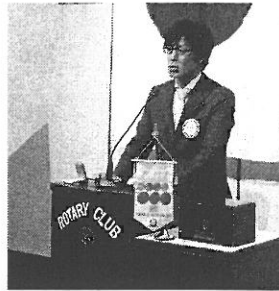
①「今夜の石浦会員の卓話を楽しみにしています。RACに緒方さんという歌をうたう人がいることを今日知りました。ライブを皆で盛り上げたいですね。しかし、じーちゃんばかりでは盛り上がりませぬー。」

②「私事ですが、10/27(土)には、地区ロータリー財団委員会に大分まで朝から出かけ、熊本へは夕方7時過ぎに帰りました。廣坂会員の車で一緒に帰りました。廣坂会員には大変お世話になりました。スマイルで感謝します。(大友)」

## 3. 例会プログラム

演題： 「私の仕事とRAC活動報告」

卓話者：石浦 順一 会員



まず私の仕事に関してですが広告代理店という業種です。

具体的内容についてピンと来られる方は少ないと思いますが簡単にご説明致しますとテレビ、ラジオ、新聞、雑誌広告等の

取り扱い代理業務、販促キャンペーン等のイベント業務請負、WEB制作、CG制作、CM素材制作、アプリ開発等デジタル制作業務請負などがソフト系の主な業務です。

また弊社においてはハード事業にも注力しており商業施設の各種看板の設計施工業務も取り扱っております。

こちらのハード事業の主なクライアントは持ち帰り弁当FC「ほっともっ」とを展開しております(株)プレナスやイオンモールやイオンタウン、コンビニ「ミニストップ」を展開しておりますイオングループが主要取引先となっております。

また広告に携わる立場でずっと気なる話題として熊本のイメージキャラクター「くまモン」の活躍は熊本を一気に日本中にメジャー化した最大の起爆剤になったのではないのでしょうか。過去に遡っても熊本独自のキャラクターがここまで日本中で話題になりまた多大なる経済効果をもたらしたソフト事業はありません。官民協力による英知の結晶とも言え今後の新たな展開も興味深く見守って行きたいと思っております。

次にRACの活動についてお話をさせていただきます。我がRAC今現在12名の会員で活動しており毎回の例会も大変活気があり地区でも模範となりうるクラブであると自負しております。メンバーは学生、社会人で構成されており皆さんそれぞれ個性的な方ばかりで卓話に関してもその個性や専門知識を活かして発表をされ毎回興味深く拝聴しております。

今現在、このような良い雰囲気運営されておりますがさらなるクラブ運営をステップさせる為にはロータリアンの協力が欠かせません。

特に今年度は全国及び地区規模のイベントも予定されておりますので皆様も大変お忙しいとは思いますが出来る限りのアクト例会参加をお願い致します。

# ウガンダで活躍する職業研修チーム

ウガンダとカリフォルニア州のロータリアンが実施している「Adopt-a-Village（村全体支援）」プロジェクトは、ウガンダのンコンド村の人々の生活向上を支援しています。

このプロジェクトはロータリーの重点分野のうち4分野（水と衛生、基本的教育と識字率向上、疾病予防と治療、経済と地域社会の発展）に関連するもので、特に、職業研修チーム（VTT）が大きな活躍をしています。

第5340地区のバスト・ガバナーで、2010年と2011年にVTTを率いたフィリップ・ラモーズさんは、次のように話します。「私の主な役割は、プロジェクトを立ち上げることでした。現地の人々が家族単位で行っている農業に生かせるよう、ビジネス戦略、貯金、投資などについての研修を行いました」

## チームワークでさまざまな支援

ロータリー財団グローバル補助金を利用し、4名のロータリアンを含む7名のチームが、きれいな水の供給システムの設置、診療所のスタッフへの研修、学校のコンピューター室の整備などを実施しました。またこのプロジェクトがきっかけとなり、地元政府が学校や診療所に資金を投入することになりました。

このVTTはまた、現地の非政府団体とも協力し、カンパラ北ロータリー・クラブが中心となって、地元住民に対してマイクロ・ファイナンス（小口融資）に関する研修を実施しました。さらに、別の非政府団体とも協力し、市場価値の高い農作物を生産するための研修を、地元の農家に行いました。

2011年10月と11月には、ケニアとウガンダから参加した5人のメンバーが米国の第5340地区を訪れ、適切な技術を利用した農業と灌漑（かんがい）におけるベストプラクティスを学びました。ロータリー財団専門家グループ副委員長で第9200地区のバスト・ガバナーであるフランシス・ツスビラさんは、このようなVTTプロジェクトによって、持続可能な成果が得られると語り

ます。「持続可能性のある開発というのは、地域社会の人々の考え方を変えることです。職業研修チームから学んだスキルを生かして、地元の人々が自分たちの土地を改善していけるでしょう」

未来の夢の一部となっているVTTは、これまでの研究グループ交換（GSE）に代わるプログラムで、チームメンバーがそれぞれの職業的専門知識を海外で生かすことを目的としています。

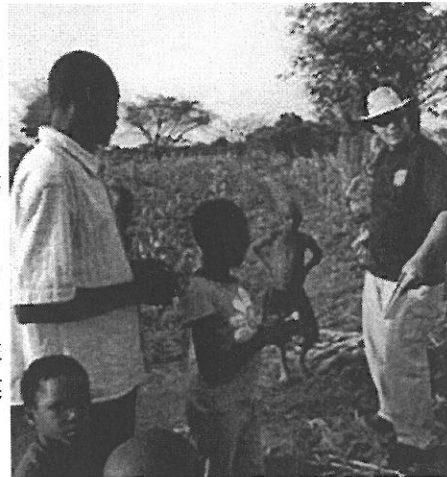
## VTTを通じて学び、実践する

第5340地区のGSEチームのメンバーとして、2001年に初めてウガンダに赴いたラモーズさんは、GSEによって東アフリカを知り、現地のロータリアンと新たな関係を築くことができました。「VTTプログラムの素晴らしいところは、現地の文化を学び、ネットワークを築くだけでなく、実際に体を動かして奉仕できるということです。ですから、現地の地域の視点から見ても、VTTはとても価値があると思います」

財団のGSEプログラムは、2013年7月1日に新補助金モデルが開始されることに伴い廃止されますが、地区は、新地区補助金を利用して、これまでのGSEと同じようなプロジェクトを実施できます。

RI研修リーダーで、第5450地区（米国、コロラド州）のグレゴリー・ポッドさんも、ラモーズさんと同様、GSEとVTTをそれぞれ経験しています。2006年にフィリピンへのGSEを率いたことは、ロータリーにおいて最も素晴らしい経験だったと振り返る一方で、今年VTTとして訪れたタンザニアでは、チームが地元地域で実施した素晴らしいプロジェクトを目にし、VTTが専門職交換プロジェクトのモデルとなるにふさわしいと感じたと言います。「VTTのプロジェクトはよりのめを絞ったもので、スキルを提供し、学び合うことによって測定可能な結果をもたらします」

（国際ロータリー・ニュース：2012年6月20日）



ウガンダのンコンド村の地元住民と農業や灌漑（かんがい）技術について話し合う第5340地区VTTメンバーのチャールズ・デュヴィヴィエさん。  
写真提供：第5340地区